



# 新たなビジネスへの一歩

株式会社ソロン

7年前から社内のデジタル化を積極的に進め、社内業務の効率化を日々行っている。更に、取引先やお客様とのやり取りでも、自社で開発したツールを活用し、業務全体の効率化を体感してきたという。今後、自社で得たノウハウやツールを同業他社へ展開する事で、新たなビジネスを生み出す事を考えており、そのまず一歩として「第三者認証の取得」を目指した。

## なぜDXに取り組んだのか

**デジタルと人間  
両方を活かした効率化**

——本事業に参加した経緯——  
会社の方針としてDXを推進するには、自社だけではどうにもできないので、考える事や仕組みを作るのに、第三者の力が必要と思っておりこの事業に応募しました。

**DXの目的とは？**  
人ができることは、人がやるべきだと思っています。考えは「環境整備」と言って、仕事のやりやすい環境を整えて備える事が当社の方針なんです。ミスが少ない、手間を省く。効率化して時間をいかに省くか。1分かかっているのを30秒にすれば、30秒の時間が取れると



DX事業部  
橋本 夕水  
はしもと ゆみ



代表取締役  
平川 浩美  
ひらかわ ひろみ

その時間をお客様に接する為に当てようというのが考え方で、ね。そのためにはやはりDX、ITを使わないとできない。例えば、お客様に、対してdmを作成して送る時、大体2千通とかあるんですけど、普通の一般的に考えると、印刷したらペルを貼って、出せば早いと思います。でも、そこに手書きでメッセージを書くとお客さんも捨てずに開けるんですよ。人に感動を与えるところは、アナログ・人でしか出来ないもので、目的を明確にして、やるべき事を分けて取り組んでいます。

——これまでの取り組み内容を教えてください。——  
まず、12年前に社内ギャップを無くす為、経営方針を作り、全社員にルールブックとして配布し、価値観の共有を進めました。その後、社員全員にiPhone、iPadを渡し、どこでも仕事ができるように環境を整備し、チャットワークを活用しながら、コミュニケーションを取ったり、仕事の依頼とかタスク管理とかをやってきました。自社で自分たちの力で進めていく方が改善するのは早く、現在は、キントーンも社内で開発し活用・運用をしています。

佐賀市



[株式会社ソロン] ■住所：〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東2丁目2番1号 ■資本金：300万円 ■従業員数：31名  
■事業内容：不動産業・境界測量・家電配送事業・不用品回収業

# 佐賀県第一号となった第三者認証『DXマーク認証』の取得



**DX認証マークとは**  
国が策定した情報処理促進法・個人情報保護法・不正競争防止法に則り中小企業のDXを進めるべく、必要な項目を網羅し、認証する第三者認証制度。

## ①必要書類の作成

2ヶ月程度

※企業様の準備スピードによる

## ②必要書類の提出

1週間程度

## ③WEB試験の実施

2週間程度

## ④書類審査

2週間程度

## ⑤審査員による面接

1週間程度

### 【必要書類】

- ① DX宣言書
- ② DX化推進計画
- ③ DX化推進規程
- ④ 個人情報保護規程
- ⑤ 個人情報保護チェックシート
- ⑥ 情報セキュリティ基本方針
- ⑦ 情報セキュリティ規程
- ⑧ スキル評価表
- ⑨ 情報資産台帳
- ⑩ IT環境チェックシート
- ⑪ DX化推進チェックシート

DX認証マーク取得



DX認証マーク取得の経緯を教えてください。

一つはブランド化です。要するに、売主さん、買主さんから、DXの取り組みをしている会社なんだって信用してもらおうという会社ですね。もう一つは社員という会社は、DXが進んでいけるよなという、社員自体が信用できる、安心できる今後の会社ってこういう風になってるんだって思ってるという会社です。あとは、DXを進めて、ミスをなくす・手間をなくし、いかに無駄をなくすかが重要なので、今の自社状況を知りたかった、それを社員に伝えていくことが目的です。

支援を通して良かった点、苦労した点を教えてください。

提出するデータが、誰が持っている？どこに保管している？というのがかなり膨大だったので、苦労というか、現場の見直しが必要なんです。業務フローなどを作成支援頂き、それを見た時にやっぱりまだまだと思ってるね。DX認証を取るために、自社の課題を見つけて。洗い出す事が出来て、新たな気づきが出来たのが良かったです。やっぱり人の手を借りることも重要と感じました。

社員皆様からの反響は？

最初は、なぜDXを進めるの？など疑問や意見がありました。

経営者である私自身が先頭になって、社員に伝えていく・変えていく事で、今では社員がDXの効果を感じております。日々の業務負担が減るなど、実際に体感してもらったこと、当社のミッションである「幸せを働くに」を実現でき良かったです。

DX認証の活用方法を教えてください。

当社で開発したキントーンを販売するというのが、今後の課題です。私たちと同じ不動産業者は、抱えている課題や困ったことが大抵一緒なんです。今回ディーエクス認証を取り、個人としてもDXアドバイザーの資格を取得したことで、

## 株式会社ソロンが思い描く未来とは？

とで、まずは同業他社の力になれる事があるんじゃないかと思っています。DX認証取得に際して得た知識、これまでの経験・知見を伝えていきたいです。

今後の展望

自社の成功体験をいろんな企業さんに伝えていく、特にKintoneで事業の柱を作るということを考えています。だから、今後DXを支援する法人を作って、そこでいろんな情報発信をして行きながらコンサルして行く。みんなが助かると思うんです。本当にDXやらなかったら大変だと思っと思っています。お金も掛けれない、昔からのやり方を変えられないというところを当社が実例として見せてあげて、変える事で得られる未来を伝えていきたいです。みんな携帯でペイペイとか使っているじゃないですか。プライベート使っているのに仕事でやらないのはおかしいなと思って。そういったことを会社として、こう簡単に使えるようなアプリも出来ないですが、どんな事でもいいので、やっていきたいと思っっています。そこで働く社員も県外でも、出社しなくても良く、ズームでもできる環境を整備しようと思っっています。働き方も自由に、正社員じゃなくても、契約社員でも、年俸制でも、という形でも、どこにいても働けるでいいんじゃないの？わざわざ時間使っただけに必要もないようにしたい。そのために、まずは、Kintoneの知識を社員全員が使えるようにする教育を行っていき、アソシエイトの資格を全員取得するように思っっています。DXを使っ、同業種の会社様・いろんな会社様・働く人も含めて、地域の活性化も含めて、やっていきたいと思っています。